

令和
7年度

埼玉県推奨図書



高校生・青年向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

宇宙はなぜこんなに うまくできているのか



村山 斉／著
集英社

太陽はなぜ燃えつづけていられるのか？ ブラックホールとは？ 私たちを囲む宇宙の疑問に様々な視点から答える物理・化学入門。ケプラーやニュートンから相対性理論、量子論まで、難しい数式なしで著者が易しく解説してくれます。

隣人のうたはうるさくて、 ときどきやさしい



白尾悠／著
双葉社

煩わしくなることもあるかもしれないけれど、誰かと繋がって生きていくことは、そんなに大変でも嫌なことでもない。むしろ、その良さを知ってしまったら、引越してなお時々遊びに来てしまうほど。こんな場所があったら住みたいと思わせてくれる優しい物語。

よむよむかたる



朝倉かすみ／著
文藝春秋

叔母の喫茶店を引き継ぎ、超高齢者読書会と関わることになった青年、やっくん。人生の重みを感じさせる個性的な読書会は波瀾万丈で、参加したくなること間違いなし！

注文に時間がかかるカフェ たとえば「あ行」が苦手な君に



大平一枝／著
ポプラ社

吃音を理由に夢を諦めたくない。「注文に時間がかかるカフェ」は、そんな思いから始まった。この取組は、人々に勇気と感動を与え、今も活動の輪を広げている。取組の発起人である奥村安莉沙氏への取材を中心に、自身と向き合い成長する人々を追った。

牛乳から世界がかわる 酪農家になりたい君へ

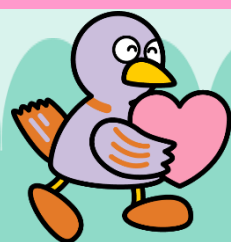


小林国之／著
農山漁村文化協会

牛乳を切り口に、酪農の現状はもちろん、経済や環境問題などのテーマも、農業経済学を専門とする著者が解説する。酪農の現場を訪ねる「実践編」は必見。牛を愛する酪農家の思いとは一。酪農家を目指す人はもちろん、牛乳を飲む全ての人に捧げる一冊。

我々が普段口にする乳製品の裏側は殆ど知られていない。本書では、座学編で生物学・経済学・倫理学・環境学等の様々な観点から酪農を学び、実践編で牧場の実態や現場の声をみて学ぶ。「酪農を知れば、世界がわかる」現代を生きる若者に是非読んでほしい一冊。

埼玉県立春日部高等学校
2年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら

